

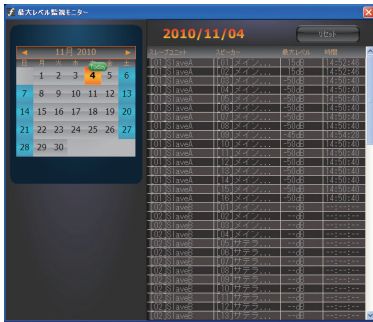
DL3 System

DATA LOGGER SYSTEM

スピーカーラインレベル監視やスピーカーラインインピーダンス測定、電源波形やラック内温度など音響システム管理のための監視と記録を行う“データロガーシステム”

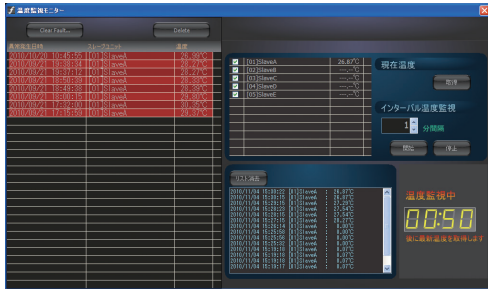


- ・データロガーマスター(DL3M)、データロガーインターフェース(DL3S)、電源制御部、スピーカー出力制御部、出力監視表示部(モニター)で構成
- ・出力監視の画面レイアウト(サイズ、グループ分けなど)は、自由でそのレイアウトはパターン化(メモリー)ができ、現場に合わせ使いやすく設定可能
- ・最大192chまでのリアルタイムスピーカーライン監視可能



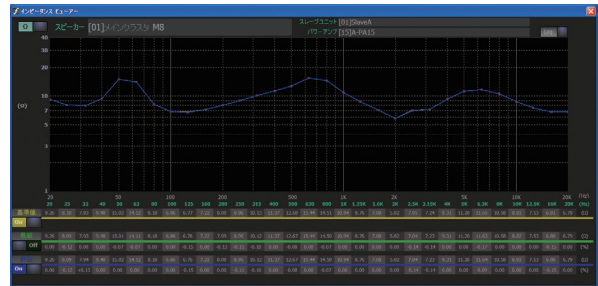
最大レベル監視モニター画面

●スピーカーレベル（音量）のピーク値とその発生時間をログ記録。万が一のスピーカー破損の原因の究明などに活用できます。



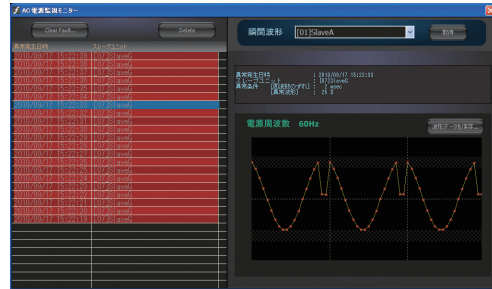
温度監視モニター画面

●データロガーインターフェース（DL3S）に温度センサー（プローブ）を接続し、ラック内などの温度を監視します。異常時には出力監視表示部に異常検知（エラー）表示とログ記録が表示されます。パワーアンプなどの機器に負担をかけない（負担をかけても問題ないと判断できる）運用を手助けします。



インピーダンスビューアー画面

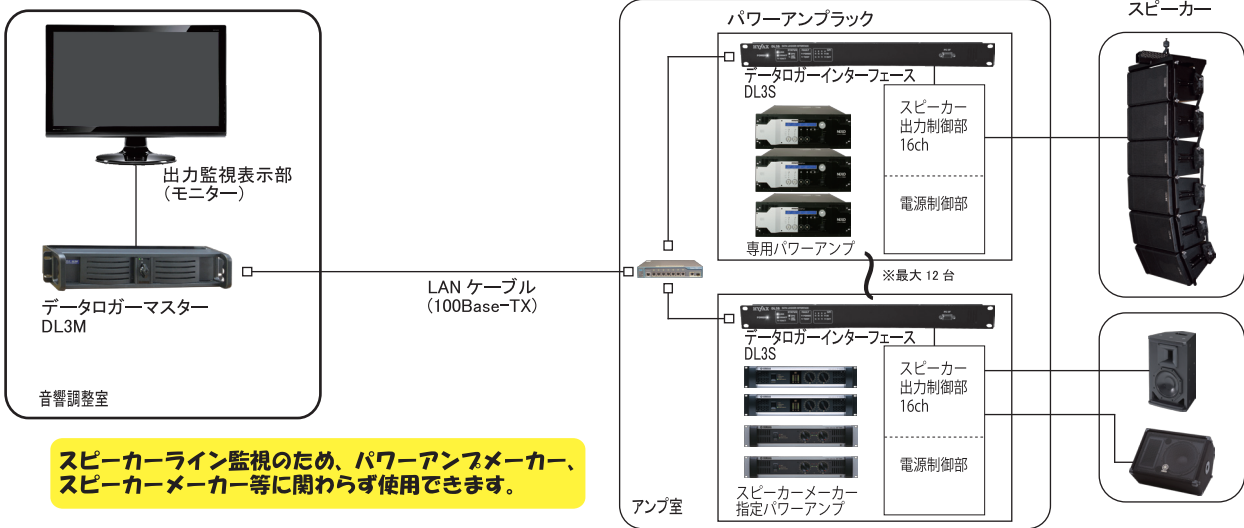
●スピーカーインピーダンス特性を測定する機能です。各スピーカーラインを順次測定し、あらかじめ設定したリファレンス値と比較して大きく異なる場合に異常検知（エラー）表示とログ記録を行い、スピーカーの状況把握を手助けします。



AC電源監視モニター画面

●音源電源の波形を常時監視し、万が一の瞬時停電などの音源トラブル時の異常検知（エラー）表示とログ記録をし、電源による音響システム状況（問題）の把握をすることができます。

システム例



仕様

- 機能 : 出力レベル監視、スピーカーインピーダンス測定、電源監視モニター、温度監視モニター
- 出力レベル監視 : リアルタイム最大 192ch、レベル表示幅 60dB（微小レベル用 +10dB 表示可能）、ピークホールド機能およびログ記録
- ピーク時の出力レベル値と発生時間をログ記録
- スピーカーインピーダンス測定 : 全系統スピーカーインピーダンス（周波数特性）測定、ログ記録

[データロガーマスター DL3M]

- ・データロガーマスター「DL3M」1台につき、データロガーインターフェース「DL3S」は 12台まで構成可
- ・出力監視表示部（モニター）は 2台まで接続可（2画面を使用した自由な表示レイアウト可能）

[データロガーインターフェース DL3S]

- ・スピーカーレベル監視 : 16ch（1台）、温度プローブ入力、監視用 AC 入力付

ヤマハサウンドシステム株式会社
YAMAHA SOUND SYSTEMS INC.
http://www.yamaha-ss.co.jp

本社 東京都中央区日本橋箱崎町41-12 日本橋第二ビル
 仙台営業所 〒984-0806 仙台市若林区区舟丁16番地 小林ビル
 名古屋営業所 〒460-8588 名古屋市中区錦1-18-28
 大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-7-18 まるみやビル
 福岡営業所 〒812-8508 福岡市博多区博多駅2-11-4 ヤマハビル
 新潟営業所 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-24-8

TEL (03)5652-3600 (代) FAX (03)5652-3927
 TEL (022)796-0061 (代) FAX (022)212-2070
 TEL (052)201-4922 (代) FAX (052)201-5650
 TEL (06)6301-7263 (代) FAX (06)6301-7269
 TEL (092)452-2811 (代) FAX (092)452-2796
 TEL (03)3639-3540 (代) FAX (03)3639-3431

⚠ 安全に関するご注意

●ご使用の際は、『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しく設置してご使用ください。

※仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。